SECによる高分子化合物の分析

○堀切 智¹ (¹野村化学株式会社)

🔵 はじめに

現在、バイオ医薬品普及の観点からモノクローナル抗体やDNA、RNAなどの分析法が重要視されるように なった。バイオ医薬品は、かぜ薬などのような低分子とは異なり、タンパク質や抗体が対象となる。そのため、 分子量が高分子へとシフトするためワイドポアカラムが必要となる。分離モードはサイズ排除クロマトグラ フィーやイオン交換、そして逆相など多くの手法が用いられる。

本研究ではサイズ排除クロマトグラフィー(SEC)を対象とした。SECは主にタンパク質や多糖類をはじめ とする高分子化合物を対象とした分析法の一つである。溶出パターンは分子量の高い順となり、複数成分で あっても個々の分子量が異なれば分離・同定において非常に簡便な方法である。これを応用して、複数のタ ンパク質を対象に分析を行ったので報告する。

SECカラムと逆相の違い

	分離モード	バッファー	温度	溶出
SEC	サイズ排除	高濃度	室温~	アイソクラティック
逆相	疎水性相互作用	低濃度	高温	グラジエント

SECと逆相にはシステムや測定における条件が大きく異なる。SECではアイソクラティッ ク溶出を基本としゆっくりと溶出させる傾向にあるが、逆相ではタンパク質の種類によって 保持が大きく異なるため、グラジエント溶出に加え、温度・流速を上げるなどの工夫が必要 となる。

● 異なる細孔径および連結時におけるタンパク質のピーク形状

₹ 0.10 € 0.10

Develosil 100Diol-5(80x300) // Develosil 300Diol(80x300mm) の比較において、細孔径の大きさに沿って保持・形状・分離が異なる。

	100Dio l- 5	300Dio l- 5	連結
チログロブリン	保持されない	やや保持される	やや保持される
BSA	ほぼ重なるピーク を確認	メインピークの前 に別ピークを確認	トリマー・ダイマー を認識
オボアルブミン	メインピーク以外 のものと重なる	100Diolより分離 する	大きく分離する
チトクロム C	メインピーク直前 のピークを認識	他ビークが認識さ れないが保持する	保持、ピーク認識 良好
リボヌクレアーゼ	他ビークとの分離 良好	やや重なる	保持·分離良好

ターゲットが高分子に集中する際には、300Diol-5のみを連結させて分 析することでより夾雑ピークを認識すると考えられる。SECの場合、チト クロムCとリボヌクレアーゼのような分子量の近いもの同士の分析には不 向きとなるが、連結本数を増やす、微粒子系充填剤を使用することで解決 することができる可能性がある。

● 微粒子系充填剤におけるピーク

本研究では100Diolおよび300Diolの3um充填剤を調製し、これをタ ンパク質の分析に適用させた。

粒子径を5umから3umへ変更することにより、さらなるシャープなピー ク形状および分離の改善が期待できる。



● 抗体からのIgG精製



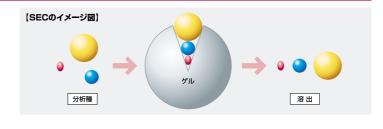
■試薬: シグマアルドリッチ社製 noclonal Anti-Goat/Sheep IgG _P

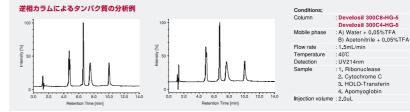
antibody produced in mouse (P/N: A9452) ■IgG精製キット:同仁化学社製

Ing Purification Kit-A (P/N; AP01

精製前モノクローナル抗体										
0.12										
⊋ ^{0.89}			K							
0.02			J		gG		~			
0.00	10.00	20.80	38.00	40.00	50.00	60.00	78.08			
Conditi	ons;									

300DioL5 +100DioL-5(各8 0x30) Column Mobile Phase Flow rate Temp. Detection Injection vol. Sample : 300Diol-5 +100Diol-5(&8.0x300mm : 150mM Na₂HPO₄,pH7.0 +0.3M NaCl : 0.5mL/min : Ambient : UV220 nm 10.0 ul : mAB(2.2mg/mL) : Waters alliance System

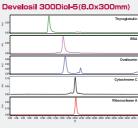




Develosil 100Diol-5(8.0x300mm) 100 104 104 100 100 ₹ 1.10 Develosil 100Diol-5 (8.0x300mm) 150mM Sodium phosphate, pH7.0 +0.3M NaCl Colum Mobile ph Ambien UV220nm 1. Thyroglobulin (M.W.=670,000) 2. BSA (M.W.=67,000) 3. Ovalbumin (M.W.=45,000)

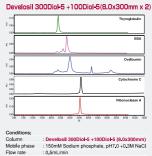
Cytochrome C (M.W.=12,000) Ribonuclease A (M.W.=12,700)

-ers alliance



Develosil 300Diol-5 (8.0x300mm) 150mM Sodium phosphate, pH7.0 +0.3M NaCl Ambient UV220nm 1. Thyroglobulin (M.W.=670,000) 2. BSA (M.W.=67,000) 3. Ovalbumin (M.W.=45,000) Cytochrome C (M.W.=12,000) Ribonuclease A (M.W.=12,700)

10uL Waters alliance



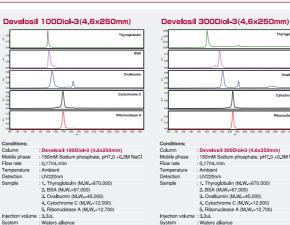
Develoail 300Dicl-5 +100Dicl-5 (8.0x300mm) 150mM Sodium phosphate, pH7.0 +0.3M NaCl 0.5mL/min 4.mbient 10.7200gbbuln (M.W.=670,000) 2. BSA (M.W.=670,001) 3. Orabummin (M.W.=650,001) 4. Occommension (M.W.=0100) Cytochrome C (M.W.=12,000) Ribonuclease A (M.W.=12,700) 10uL Waters alliance

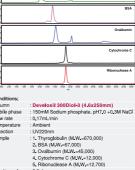
Develosil 300Diol-3 +100Diol-3(4,6x250mm x 2)

sil 300Diol-3 +100Diol-3 (4.6x25

. Develosin 300Diol-3 + 100Diol-3 (4,6x250mm) : 150mM Sodium phosphate, pH7.0 +0.3M NaCl : 0.17mL/min : UV220nm

1 Thyroglobulin (M.W.=670,000) 2 BSA (M.W.=67,000) 3 Ovalburnin (M.W.=45,000) 4 Cytochrome C (M.W.=12,000) 5 Ribonuclease A (M.W.=12,700)

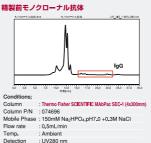




ters allianci

プロテインAリガンドによるIgG精製

ers allian



mAB(2.2mg/mL) Thermo Fisher SCIENTIFIC Vanquish-H

· 11V280 nm Injection vol. : 10.0 uL Sample : mAB(2 System : Thermo



Colun

Sample

Mobile phase Flow rate Temperature Detection

Injection volume : 3.3uL

Conditions; Column P/N Mobile Phase Flow rate Temp. Detection Injection vol. Sample System er SCIENTIFIC MAbPac SEC-1 (4 : Thermo Fisher SCENTIFIC MADPac SEC-1 (4x300 : 074696 : 150mM Na₂HPO₄,pH7.0 +0.3M NaCl : 0.5mL/min : Ambient : UV280 nm 10.0 uL Purified IaG Thermo Fisher SCIENTIFIC Vanquish-H



Conditions; Column Mobile Phase Flow rate Temp. Detection 300DioL5 +100DioL-5(条8.0x3 : 300Diol-5 +100Diol-5(38.0X300mm : 150mM Na₂HPO₄,pH7.0 +0.3M NaCl : 0.5mL/min : Ambient : UV220 nm 10.0 ul Purified IgG Waters alliar

